

私は基礎プログラミングの講義を受けて、レポートの書き方について考え直すことになった。以前までは所々に感想的な要素や、自分の勝手な思い込みを書いたりしていたが、プログラミングのレポートでは自分の考えだけでなく、結果を実証する必要がある、今までの自分のレポートでは評価されなかった。それによって、他の講義でも出されるレポートの課題への考え方が変わり、今までのような感想や自分の勝手な考え方を無くすように努めた。

後期の講義内で学んだ CGI では、インターネットでよく見るラジオボタンを使ったプログラムを学んだ。現在主流であるラジオボタンの作り方が分かったので、就職してから書類やアンケートを作る際に役立つと思った。CGI はインターネットなどにも利用されているので、その仕組みを知っただけでも今後に役立つのではないだろうか。

この講義によって今後影響を受けるとしたら、会社での書類の書き方ではないだろうか。最初に言ったように、レポートに対する考え方が変わったことによって、現在、他の課題に対する考え方も変わった。もし、プログラミングの講義が無かったら、未だにレポートに対する考え方が改善されず、他の講義の課題に苦勞していたと思う。現にプログラミングの講義を受ける前のレポートは語尾などが一定ではないうえに、自分の考えがはっきりせず最初と最後では意見が変わっていることもあり、添削されたものを見ると毎回注意されていた。現在ではレポートの書き方ではなく内容についてのコメントが多くなった。

この講義ではプログラムを作成し、作り方などを覚えることも重要だが、それ以上に、就職してからの書類を書く際に役に立つと思った。現在は学生のレポートなので提出し誤りがあっても単位に影響するだけであるが、就職してからは信頼に影響しその後の人生にまで影響する可能性もあるので、プログラミングの講義で出されたレポートの課題は社会に出てから役に立つものだと思う。今は一夜漬けで終わる課題でも、卒論などは計画的に進めていく必要がある。その点ではプログラミングの課題は、一夜漬けでは終わらず数日に分けて計画的に進める必要があるので、計画性が身に付き卒論へ向けての取り組み方を示してもらったように感じる。

私は高校まで勉強をしてこなかったもので、大学に入学してからレポートの書き方などに苦勞してきたが、プログラミングの課題を通してレポートに対する考え方や計画的に作業を進めることの重要性を学んだ。これからの学生生活や将来就職してからもこの経験を生かしていきたい。